

経済・金融  
フラッシュ

## 【6月米住宅着工、許可件数】

住宅着工・許可件数ともに市場予想を上回る伸び。ただし、4-6月期は前期からモメンタムが低下

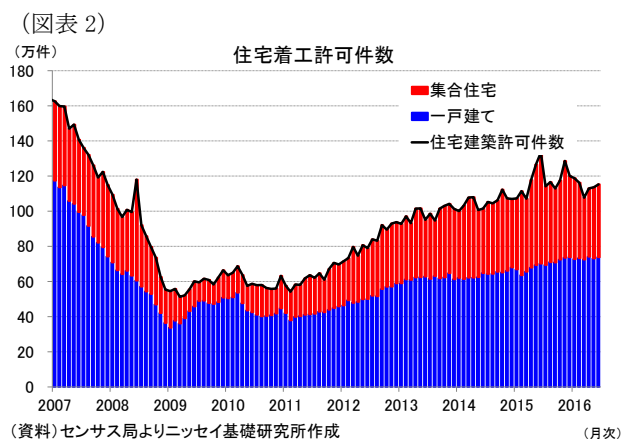
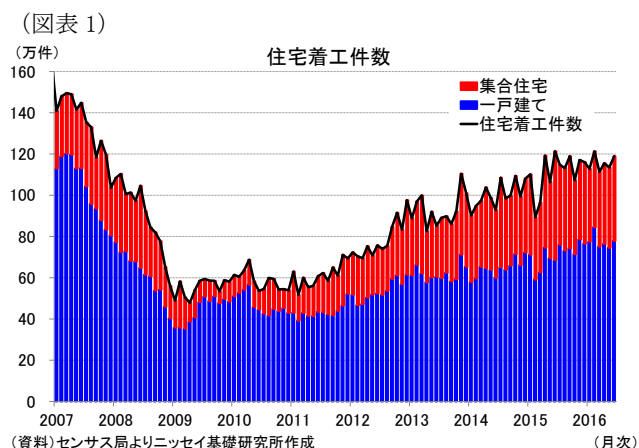
経済研究部 主任研究員 窪谷 浩

TEL:03-3512-1824 E-mail: kubotani@nli-research.co.jp

## 1. 結果の概要:住宅着工、許可件数ともに市場予想を上回る結果

7月19日、米国センサス局は6月の住宅着工、許可件数を発表した。住宅着工件数（季節調整済、年率）は118.9万件（前月改定値：113.5万件）と、前月から増加、市場予想の116.5万件（Bloomberg集計の中央値、以下同様）も上回った（図表1、図表3）。

住宅着工に先行する住宅着工許可件数（季節調整済、年率）は、115.3万件（前月改定値：113.6万件）と、こちらも前月から増加、市場予想（115.0万件）も上回った（図表2、図表5）。

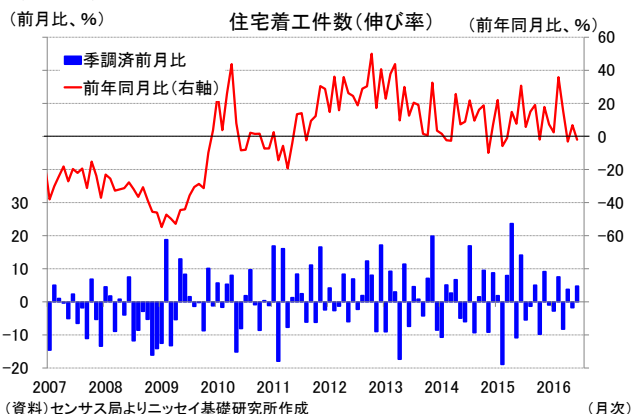


## 2. 結果の評価:6月は良好な結果となったものの、4-6月期では前期から伸びが鈍化

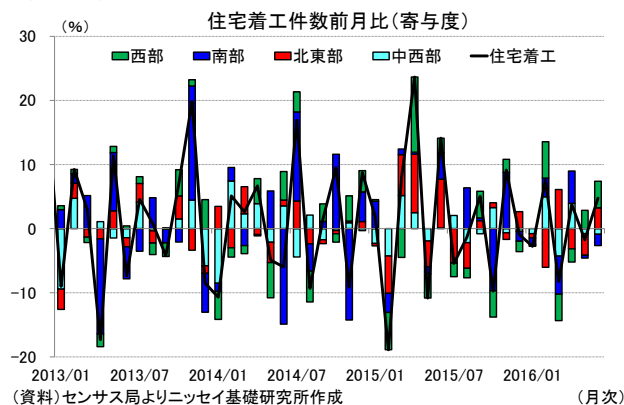
住宅着工件数は、6月の前月比が+4.8%（前月：▲1.7%）と前月からプラスに転じた一方、前年同月比では▲2.0%（前月：+6.8%）と、こちらは2ヵ月ぶりにマイナスとなった（図表3）。もっとも、15年6月が121.3万件と昨年のピークとなっていたことから、来月以降は再び前年同月比でプラスに転じるとみられる。

住宅着工件数（前月比）の地域別寄与度をみると、南部が▲1.8%ポイント（前月：▲0.4%ポイント）、中西部が▲0.9%ポイント（前月：▲0.8%ポイント）と2ヵ月連続でマイナスとなる一方、北東部が+3.3%ポイント（前月：▲3.4%ポイント）と3ヵ月ぶりにプラスに転じたほか、西部が+4.1%ポイント（前月：+2.9%ポイント）と2ヵ月連続でプラスとなった（図表4）。

(図表 3)



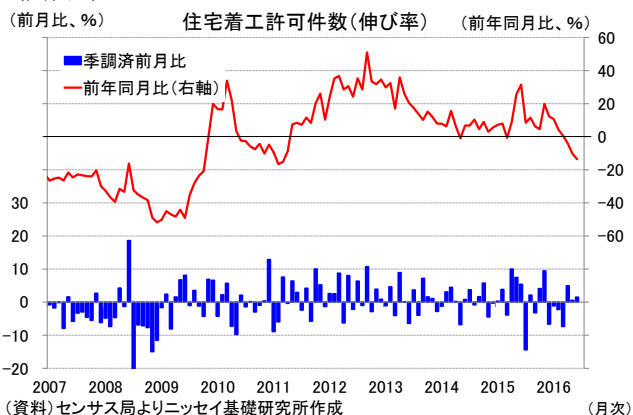
(図表 4)



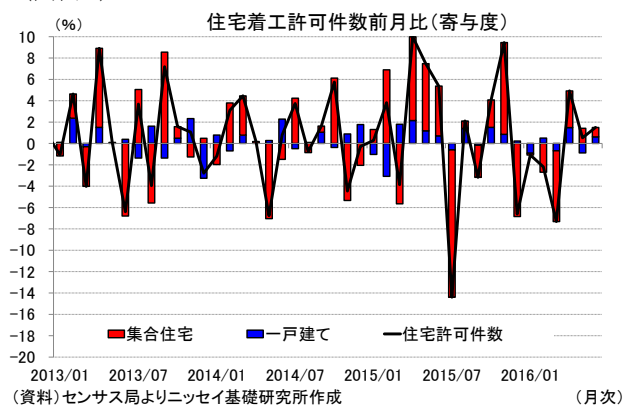
住宅着工件数の先行指標である住宅着工許可件数は、6月の前月比が+1.5%（前月：+0.5%）と3ヵ月連続でプラスとなったものの、前年同月比では▲13.6%（前月：▲10.3%）と3ヵ月連続でマイナスとなったほか、ここ2ヵ月は2桁の大幅なマイナスとなった（図表5）。許可件数も15年6月は133.4万件と昨年のピークとなっていたことから、来月以降は前年同月比でプラスに転じると見込まれる。

次に、戸建て、集合住宅でみると、一戸建てが前月比+1.0%（前月：▲1.4%）と前月からプラスに転じたほか、集合住宅が+2.5%（前月：+4.1%）と3ヵ月連続でプラスとなった（図表6）。

(図表 5)

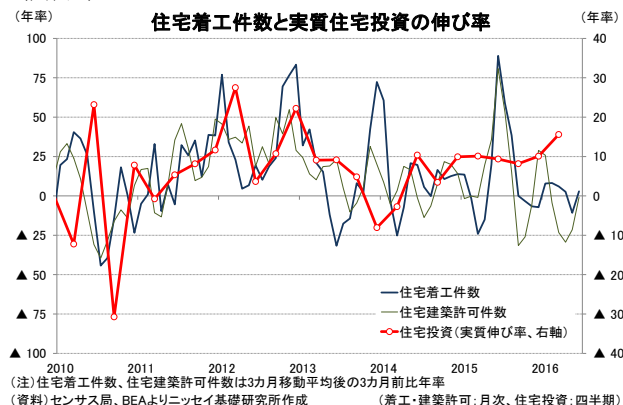


(図表 6)



一方、4-6月期で住宅着工、許可件数（3ヵ月移動平均、3ヵ月前比）をみると、許可件数は▲0.9%（1-3月期：▲23.3%）となり、2期連続でマイナスとなったほか、住宅着工は+2.9%（前期：+6.0%）と、前期から伸びが鈍化した（図表7）。このため、4-6月期のGDPにおける住宅投資は、前期比年率+15.6%と2桁増の高い伸びとなった前期から、伸び鈍化が見込まれる。

(図表 7)



(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。